

2026年7月22日

東日本旅客鉄道株式会社

盛岡事業本部はお客さま、地域の皆さまと歩みます ～「安心」と「感動」をお届けし、信頼される事業本部となるために～

東日本旅客鉄道株式会社では、2026年7月1日に事業運営体制を改正し、第一線の職場と企画部門を融合した新たな組織体制となり、岩手県を中心とするエリアでは盛岡事業本部が発足しました。

新たな体制では、これまで以上に地域に密着し、スピーディーな事業運営を行うことにより、安全を最優先に安心してご利用いただけるモビリティサービスの提供、地域共創やエリアの事情に即した地域交通の課題解決などに取り組み、エリアの賑わいを創出することを主なミッションとしています。

これらのミッション実現に向け、盛岡事業本部はお客さま・地域の皆さまと共に、真面目に、誠実に歩んでまいります。

1. 地域と共に歩み思いやりとワクワクにあふれる社会づくり

(1) 「旅の目的地」として選ばれるエリアへ

盛岡事業本部は、岩手県を中心とする豊かな自然、食、そして活気ある地域のお祭りなど、観光資源に恵まれた魅力的なエリアに位置しています。2026年4月、AZUMA FARM 社との協業による高付加価値型ホテル「AZUMA FARM Koiwai」が開業しました。また、2029年春以降には C58 形蒸気機関車を活用した新たな観光列車の運行開始を検討しているほか、観光列車「ひなび（陽旅）」を地域のイベントや観光素材の見頃に合わせて運行するなど、地域との共創による新たな価値創造と、インバウンドを含めた流動創造に取り組み、「旅の目的地」として選ばれる地域づくりに貢献してまいります。



【AZUMA FARM Koiwai】



【C58 形蒸気機関車】



【観光列車「ひなび」】



【大槌町の魅力発信】

(大槌町山林火災 観光面からの復興支援)



【活気ある地域のお祭り】

(釜石まつり)



【みちのく潮風トレイル】

(2) 地域の賑わい創出

2026 年 3 月に岩手県内と首都圏をつなぐ荷物専用新幹線の運行を開始するなど、列車荷物輸送サービス「はこビュン」の事業拡大を進めており、その活用により地域の魅力発信や地域経済の活性化に貢献していきます。また、2026 年度中には盛岡駅のリニューアル工事完了を予定しています。このほかモバイル Suica のコード決済サービス「teppay」の開始（2026 年秋頃）、Suica のエリア統合（2027 年春頃）による移動デバイスとしての価値向上、もりおか駅前開運ホコテンをはじめとした地域イベントとの協働を行います。

今後、さまざまな取り組みの推進により、地域の皆さまにとっての新たな体験価値を創造し、地域の賑わいを創出するとともに、「心豊かな生活」を実現します。



【盛岡駅改良工事】

(2026 年度中の完了見込み)



【はこビュン】

(荷物専用新幹線運行開始)



【重点共創エリア「岩手」オープニングセレモニー】

(場所: もりおか駅前開運ホコテン 特設ステージ)

2. 安心してご利用いただけるモビリティサービスの提供

(1) 輸送障害に対する取り組み

災害への対応として地震・津波等の自然災害を想定した大規模異常時訓練やBRTにおける津波避難訓練などを実施しています。また、踏切の安全性向上に向け、踏切の改良および見直しや各地での踏切安全に関する各種啓発活動などについて継続して取り組み、安全かつ安心してご利用いただけるモビリティサービスを提供していきます。



【総合防災訓練(盛岡駅)】



【BRT津波避難訓練】



【踏切支障報知装置体験(一ノ関駅)】

(2) 設備基盤の強化

高架橋の耐震補強といった地震対策、強風や雪害等による倒木防止を目的とした線路近接木の計画的な伐採、落石止め柵や落石防護網などの落石対策、野生動物との衝突防止対策など、あらゆるリスクを想定し予防対策を徹底します。

また、新技術導入を検討し、メンテナンス業務の変革・生産性向上を進めることで、設備基盤を強化するとともに、駅舎上家の塗装や駅設備の修繕を着実に進め、モビリティサービス全体の品質を高めます。



【地震対策】

(新幹線高架橋耐震補強)



【落石対策】

(落石止め柵新設)



【野生動物対策】

(忌避剤散布)



【新技術導入の検討】

(ドローンによる設備確認)

3. 多様な移動手段が支える持続可能な地域交通体系づくり

盛岡事業本部のエリアでは、東日本大震災の津波により被害を受けた大船渡線と気仙沼線において、持続可能なモビリティを目指し、BRTを運行しています。安心してご利用いただくため、新型車両の導入や専用道修繕の実施、地域連携 IC カード「odeca」の導入による利便性の向上など、地域に根ざした交通基盤としての定着を図っています。

山田線ではJRの乗車券類で106特急・急行バスを利用できる仕組みを構築し、2025年4月より岩手県北バスさまとの共同経営を開始しています。この取組みにより、お客さまにとって移動手段の選択肢が増えたことで、公共交通の利便性向上につながったものと考えております。

今後も、地域にとって利便性が高く最適な公共交通の実現に向けて、地域の皆さまとともに検討してまいります。



【BRTの運行】



【山田線 岩手県北バスさまとの共同経営】